

「折鶴献呈」



8月17日(木)、4協働支援センターが主催する「折鶴献呈」が4年ぶりに開催され、小中学生19名を含む33名が参加しました。

広島市へ向かう車中では、山本剛久先生から被爆当時の話を伺い、DVD映像を観て原爆の恐ろしさを改めて学習し、広島平和記念公園では神石高原町友会田中将英会長他2名の方から出迎えを受けて全員で黙祷を捧げた後、町内の皆さんから託された約13万羽の折鶴を原爆の子の像を中心に、原爆供養塔・韓国人原爆犠牲者慰霊碑に捧げました。

その後、平和公園内を4班に分かれて散策し、多くの外国人を含む長蛇の列が並び平和記念資料館へ向かいました。資料館内では、多くの来館者に混じって見学していきましたが、バス車中で体験談や映像を観た後だったため、展示内容がさらに現実味を帯びて感じる事ができました。

今回の「折鶴献呈」開催に係り、折鶴作成等のご協力に感謝申し上げます。ありがとうございました。

ゆきの灯り

第80号
令和5年9月発行
油木協働支援センター
TEL 82-0701
FAX 82-2228

生涯学習マスコット：マナビイ



菊開月



第3回軽トラ掘り出し朝市開催!

生活に必要なものが気軽に

くらしで元々買えたら良いよね...



8月11日(金)、「第3回軽トラ掘り出し朝市」を開催しました。

今回は特にお盆前に開催したことで、台風後の小雨の降る中、多くの方々が特にお盆用の生花を求めて販売開始前から並び、販売と同時にあっという間に売り切れ状態となりました。

残念ながら購入できなかった方も多くあり、今回の「朝市」から、「生花も含めて、四季折々の生活必需品の購入場所が地域にない」ことが大きな問題であると改めて感じました。



にしかわ化石館所蔵の岩石標本(含イリジウム黒色岩)が「県央に自然史博物館がやってくるシーズン2」(広島大学総合博物館第15回企画展:東広島市豊栄支所)に展示されました。(7月22日~9月10日)

※この岩石標本は、西川功氏が生前に蒐集されていたものです。今回の広島大学総合博物館への所蔵資料の貸し出しを通じて、今後、にしかわ化石館と広島大学総合博物館との間で貸借ルートが確立し、油木を会場に広島大学総合博物館の資料等が展示できればと考えます。



「化石出前講座」(福山)

夏休みの「ゆきキッズ」、子どもたちは8月も元気に参加して、楽しい思い出を作ることができました。

8月のゆきキッズ

■楽描教室② (8月5日)

若林佐都子先生の指導で、黒画用紙に水彩絵具を垂らしてストローやスプーンを使って「花火」を描きました。

■ものづくり教室 (8月23日)

松岡純夫先生の指導で、「水鉄砲」を作りました。竹を切って布を巻き付け、どうしたら勢いよく水が飛びのくかを工夫しながら楽しく工作ができました。



8月19日(土)、昨年に引き続き「ふくやま子育て応援センター」(天満屋福山店)において、「化石出前講座」を開催しました。

今年も福山市内の小学生・保護者10組が参加して、中西正一プロジェクトリーダーの指導で「化石クリーニング」に挑戦しました。

親子で協力しながら、いろいろな角度を変えて岩を砕き、「巻貝」や「二枚貝」の化石を見つけては大喜びで、楽しい時間を過ごすことができました。昨年参加して楽しかったので、今年も絶対やりたいと、喜んで楽しくできて良かった。」という声が聞かれました。

にしかわ化石館

開館:月・水・金(11:00~19:00)

祝日・休日は閉館 入場無料

油木の歴史大発見 (地学編 Part2)

—令和5年度広島県公民館連合会公民館等活性化モデル事業—

8月7・8日、松岡敬二先生(油木出身・前豊橋市自然史博物館長)を講師に迎え、昨年に引き続き「公民館等活性化モデル事業」として「化石から学ぶ体験教室」を開催し、上野山方面の地形探索や化石発掘体験・化石クリーニング体験を通じて、「油木の中生代の地層」を学習して歴史を学びました。

故西川功氏と交流があり、「にしかわ化石館」立ち上げに協力いただいた松岡敬二先生から、「化石発掘の実技体験の方法」や、「地球の歴史」「恐竜や動植物の生態」等の専門的な説明を「にしかわ化石館」と絡めて聞くことができ、参加した子どもたちも興味津々で2日間を過ごすことができました。

今回の「モデル事業」には、尾道市御調町河内公民館より林館長さん、広島県立生涯学習センターより大屋社会教育主事さんによる事業視察もあり、「にしかわ化石館」を軸にした他地域との「社会教育」の交流・推進に、新しい展開も期待できそうです。

※令和4年度事業実施の様子が、広島県立生涯学習センターHPに紹介されています。



8月22日～27日にかけて、油木地域が誇る「芸術作品」がシルトピア図書館に展示され、多くの方々を訪れました。これからも「芸術・文化」に触れる機会を、積極的に創出していきたいと思ひます。(文芸復興プロジェクト)

油木10人展

油木協働支援センターHPにも紹介しています。



地域の「芸術作品」を共有して大切にしてください

「油木10人展」に展示された作品のうち、「氷上の舞」(大杉登氏作)が神石高原中学校へ贈呈されることとなりました。これはご子息の大杉淳一氏のご厚意で実現しました。「氷上の舞」はアルペールビル冬季五輪銀メダリストの伊藤みどり選手をモチーフに制作されたものです。(第45回(平成5年)広島県美術展彫刻の部入賞作品)



神石高原中学校(050828)

大人の教室 きのご観察会 今年も自然観察眼を磨きましょう

- 日時 令和5年9月30日(土) 9:30~14:00
- 講師 柘木孝一先生(広島県きのこアドバイザー)
- 場所 集合:旧油木百彩館駐車場
活動:油木地域の山(赤木卓司氏所有)/油木コミュニティセンター
- 内容 きのご採集・きのこ検定/観察会等 ●定員 10名(参加費300円 当日徴収)
- 持参物 かご・根切り・弁当・飲料水・軍手・タオル
- お問い合わせ・申し込み
油木協働支援センター ☎ 82-0701 📠 82-2228



有害動物駆除用煙火安全講習会開催



- 日時 令和5年10月26日(木) 18:30~
- 場所 油木コミュニティセンター
- 講師 株式会社ライズ ※詳細は油木協働支援センターHP・11Chでご確認ください。

令和5年度 ゆきふるさとまつり 楽市楽座・大感謝祭

令和5年10月22日(日) 開催!!
場所:油木シルトピアグラウンド

~子ども交流会~ 段ボールで遊ぼう!

「新しいお友だちができた人?」という問いに、全員が「はい!」と手を挙げていたのが一番の成果だったと思ひます。

また、油木高校からボランティアの生徒が4名参加して、交流会の運営に協力してくれました。

8月10日(木)、町内の小学生17名が参加して三和協働支援センターを会場に子ども交流会が開催されました。

今回は「段ボールで遊ぼう!」をテーマに、各地区からの混成メンバーでチームを構成し、段ボールでキャタピラーを作ったりリースをしたり、各チームで協力して作った小型迷路を最終的に合体させて巨大迷路(写真)を完成させたりと、いろいろ作戦をたてながら楽しい時間を過ごすことができました。



Squash Lesson 好評開催中!!



(7月2日)



(9月3日)

講師:郡司孝一先生 場所:油木コミュニティセンター球技室
日時:10月22日 11月12日 3月10日 ※10:00~

赤ヘル軍団 激闘の記憶展

いよいよ29日(金)まで!

~山田コレクションの世界~
にしかわ展示室にて好評開催中!



跳ねて暴れろ 鯉のぼり!

~中国新聞9月4日(火)「われら備後カーブ人」にて紹介されました~

我が家の「しつけ」どうする? (参考:香川県教育委員会「今こそ家庭教育」)

★地域で子どもを見守り育てましょう(油木協働支援センター)

○「しつけ」の元々も意味は、着物を縫う時に仮に縫い付けておく「しつけ糸」のこと。しつけ糸は、着物が縫い上がった時にははずすもの。つまり、しつけの成功は、「しつけ」がなくなっても子どもが自ら考え、適切に行動できることにあります。

○そこから考えると、しつけの本質は「しっかり縫い付ける」=厳しく注意することではありません。大切なのは、「いかにしつけ糸をはずすか」=しつけた結果“子どもが自分からできるようになること”です。このことを頭に入れ、我が家のしつけで大切にしたいことを、家族で話し合っておけるといいですね。

子どもはしつけを通じ、
・自分のしたこと、したいことが目の前の相手にとってもよいこと、してほしいこととは限らないということを学ぶ。

子どもにとって最も身近にいる親として、
・社会において守るべきルールは何か
・相手のことを思って行動するとはどのようなふるまいか
目の前で示すことは、子どもにとって最も効果的な「しつけ」のひとつである。



「体罰」は法令上明確に禁止されている叱り方

- 子育てチェック
- 自身の「しつけ」で何を大切にしているか具体的に挙げるができる。
 - 親として、約束やルールを守る姿を子どもに見せることができる。



- ワンポイントアドバイス
- 1 我が家のしつけの方針を家族・夫婦で話し合ってみよう
 - 2 まずは親が子どもの前で正しい態度を示すことを心がけよう
 - 3 子どもが「やってみたい」しつけ方を工夫してみよう

